

新潟市長
篠田 昭 様

平成26年 3 月27日

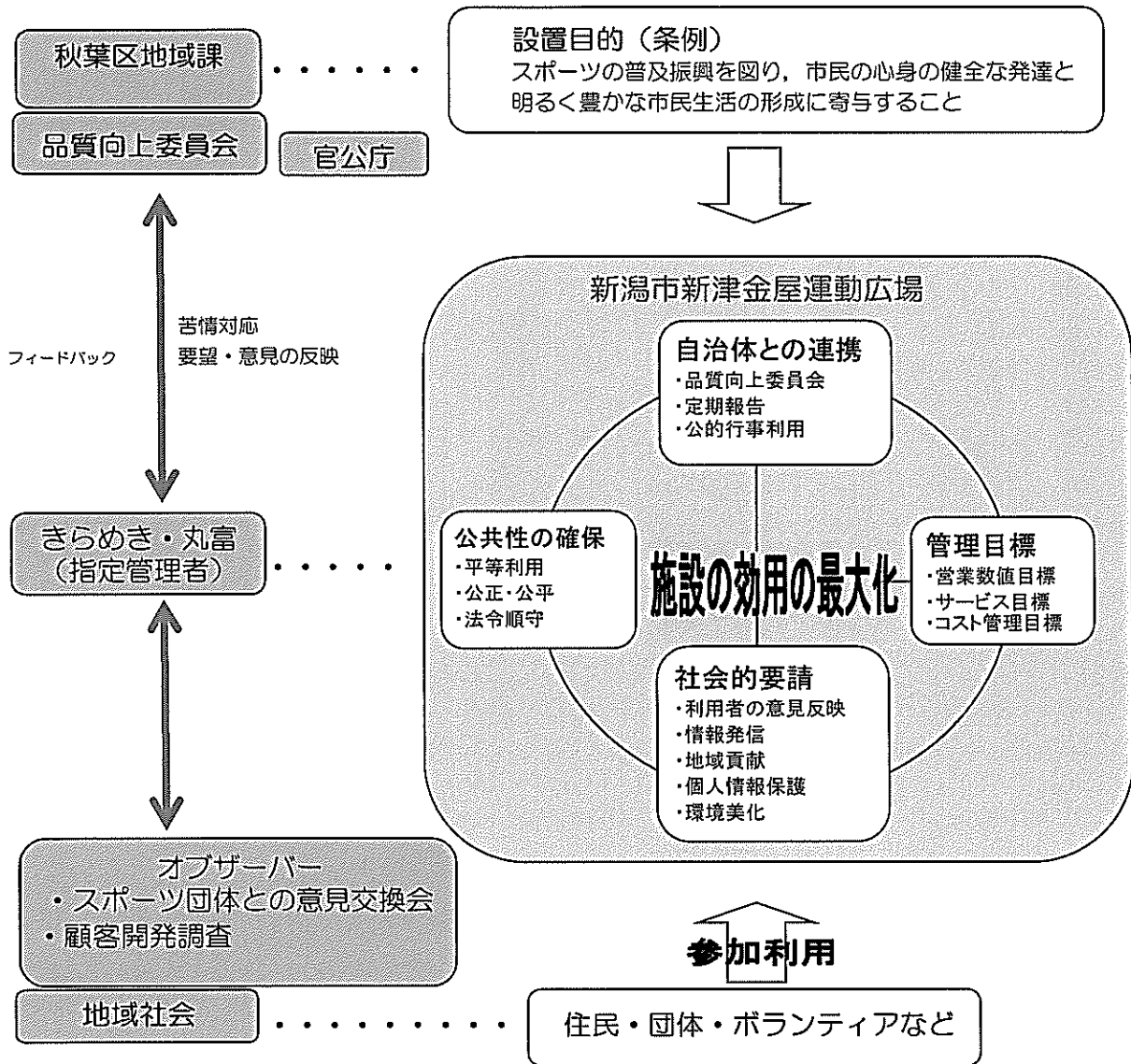
平成26年度 新潟市新津金屋運動広場 事業計画書・収支計画書

秋葉区スポーツフィールド運営グループ
(環境をサポートする(株)きらめき/(株) 丸富)

代表企業 環境をサポートする(株)きらめき
代表取締役社長 山田 茂孝

管理運営の基本方針

「住民主体のスポーツ活動と地域スポーツ文化振興に貢献します」



具体的施策

- ・各分野のエキスパートによる施設維持管理サポート
- ・統一性と柔軟性に富んだ包括的管理
- ・住民主体のスポーツ活動と地域スポーツ文化振興に貢献
- ・より安全で快適なスポーツ環境の提供

管理運営の基本方針と具体的施策

1 管理運営の基本方針

- (1) 住民主体のスポーツ活動と地域スポーツ文化振興に貢献
住民誰もが年代に関係なく気軽に楽しむことができ、地域住民の健康増進や地域のつながりに貢献するスポーツ環境を提供いたします。そのために秋葉区各自治体（自治会長）との懇談会や小中学校、関係施設等へのヒアリングなど、住民の皆様の協力を仰ぎながら意見を集約し、住民、地域のスポーツ活動に貢献します。
- (2) 豊富な管理実績による安全でスムーズな管理運営
私たちは県内において高校野球開催球場を含め多数の管理実績があります。そのノウハウを活用することにより安全かつスムーズな施設運営・維持管理をお約束します。
- (3) 県内外のネットワークを活用し、地域スポーツ文化振興に貢献
今まで指定管理者事業で培った県内外のネットワークを活用し秋葉区地域スポーツ文化振興に貢献します。また野球だけに限らず、秋葉区の健康増進に貢献出来る事業、多目的広場でのスポーツ活動や教室活動、地元団体と協力したイベント開催などのスポーツ以外の活動にも力を入れます。
- (4) スポーツ情報の発信と利用者の利便性向上
ホームページを新たに開設し、施設・自主事業情報の他に地域スポーツ情報を無料で発信いたします。申請書、各所情報等をダウンロード可能にすることなど利用者の利便性向上に努めます。また地域の関連施設や地域スポーツ団体等と相互リンクを貼り相乗効果を高めます。
- (5) 平等利用の確保
市民共有の施設である同施設は、多くの人たちからいつでも楽しく利用して頂けるよう平等利用の原則を堅持しながら運営してまいります。一般的に社会全体で維持され、誰もが等しく受益できる公共的なサービス「分け隔てのない便益の提供」であるユニバーサルサービスの実現に向けて下記の3原則に従い施設管理を行います。
三原則 ①地理的公平性 どこでも ②社会的公平性 誰でも ③金銭的公平性 均一料金
- (6) 指定管理料の削減
委託業務を自営化することにより委託費を削減いたします。
以下の原則に従い、管理経費削減に努めます。
管理経費削減に向けた4つの基本方針 ①プロパティーマネージャーによる維持管理費削減 ②ボランティアの活用による事業費削減 ③環境保全によるコスト削減 ④自主事業収入増による指定管理料削減

2 具体的施策

- (1) 地元スポーツ振興会との意見交換
秋葉区所管課、秋葉区スポーツ団体と定期的な意見交換会を設置し運営に活かします。その中で、野球やサッカー以外のスポーツ、シニアスポーツ、障がい者スポーツ、世代間交流事業などでサポート出来ることはないか協議させて頂いた上で施設の有効活用に繋げてまいります。
- (2) 地域世代間交流に貢献
地域交流の中心的施設へと進化させるべく、地域世代間交流に貢献出来る事業を展開します。
スポーツ以外での施設利用を促進する事業を行います。
- (3) スポーツ相談窓口の設置
スポーツに関してメンバー募集、広報、普及活動など野球以外のスポーツでもお悩みの方には無料窓口を開設し、施設長がコンシェルジュとして対応します。
- (4) 各分野のエキスパートによる施設維持管理サポート
プロパティーマネージャーは施設・秋葉区担当者の意向・要望を的確に把握し、直接的窓口として連絡を密にすることにより業務管理の一元化を図ります。さらに経験豊富な体育施設管理のプロである上級体育施設管理士を配置します。施設維持管理にはプロパティーマネージャー、体育施設整備業務には上級体育施設管理士という各分野のエキスパートが施設維持管理サポートを行います。
- (5) プロパティーマネージャーを中心としたコスト削減
施設維持管理業務を円滑化し、さらにコスト削減計画を作成し、数値化された目標を進捗管理することにより、計画的で精度の高いコスト削減を図ることが可能となります。
- (6) 環境負担低減への取り組み
省エネ、省資源に取り組み、グリーン購入商品を積極的に納入する等、環境にやさしい管理運営を目指します。

平成26年度の目標設定について

3. 目標設定

以下の項目にて具体的な数値を目標設定し、月例にて秋葉区地域課に報告、進捗管理を行います。
また数値目標実現のために利用促進策として以下の自主事業を行います。

【年度別目標】

野球場	平成26年度	月別											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数(人)	8,900	800	900	1200	1300	1300	1300	1200	830	50	0	0	20
使用料(千円)	560	50	60	70	80	80	80	70	55	10	0	0	5

多目的広場	平成26年度	月別											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数(人)	4,100	300	400	550	600	650	650	550	350	30	0	0	20
使用料(千円)	240	15	20	30	35	40	40	30	15	10	0	0	10

水辺プラザ公園	平成26年度	月別											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数(人)	5,400	500	550	700	750	750	800	800	500	30	0	0	20

【顧客満足度向上のための目標】

	平成26年度
ホームページアクセス件数 (件)	1500
イベント・教室開催数 (回)	3
イベント・教室集客数 (人)	220
アンケート回収 (枚)	300
品質向上委員会開催 (回)	2
意見交換会 (回)	2

4. 自主事業

地元野球連盟やサッカー協会の協力を得て、冠大会の開催します。また、野球教室の開催及び地域世代間交流に貢献出来る自主事業を行います。

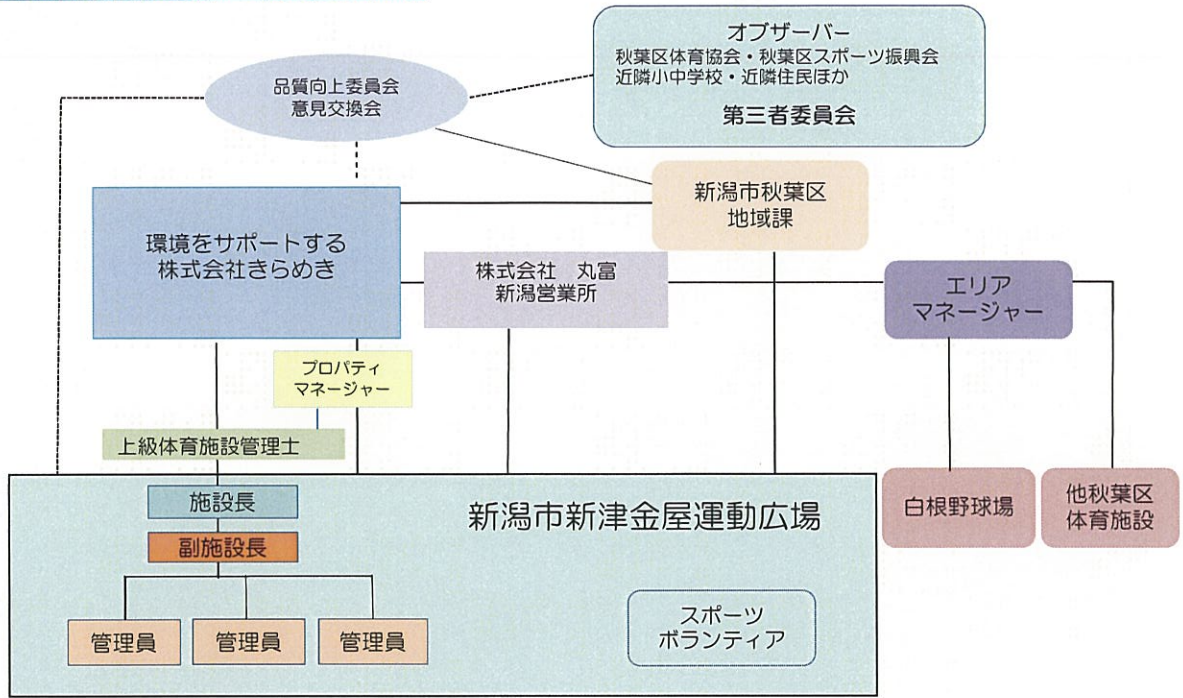
11月	地域振興野球大会 秋葉区近郊の小学生を対象とした野球大会（秋葉区スポーツフィールドカップ）
7月～10月	教室 秋葉区近郊の小学生を対象とした野球、サッカー教室、スクール
9月	イベント開催 水辺プラザを活用したイベントの開催

人員体制と緊急連絡体制

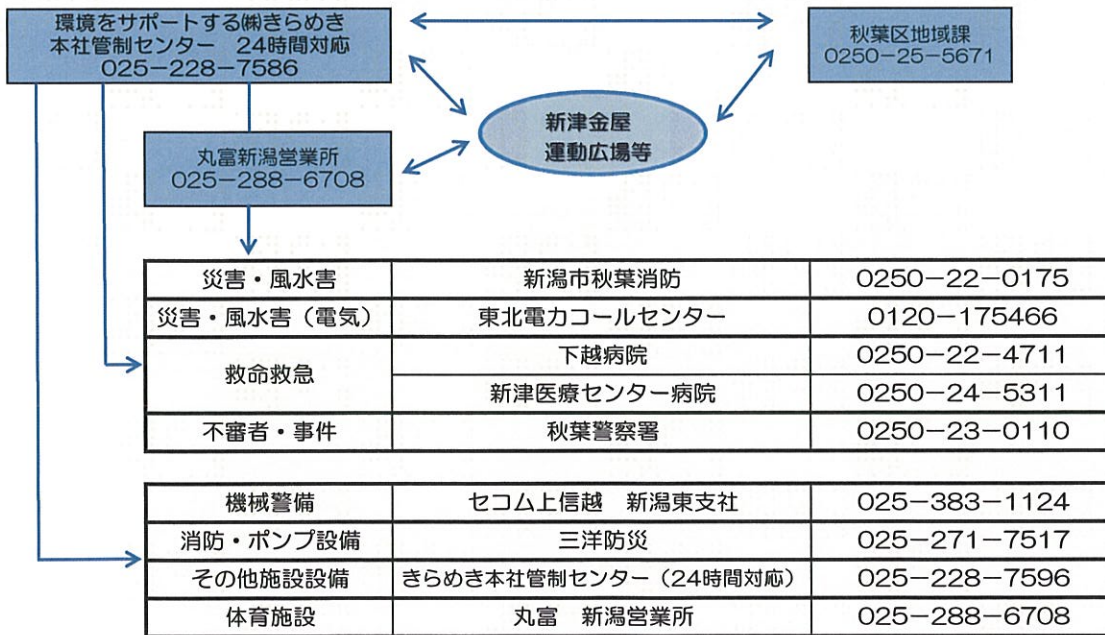
5. 人員体制

(1) 運営組織構成と人員配置

新潟市新津金屋運動広場等 組織運営体制



新津金屋運動広場 緊急連絡体制図



新津金屋運動広場等 維持管理業務計画書

現場名:新潟市新津金屋運動広場等

【清掃管理業務】	頻度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)日常一般清掃	1/日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)床面清掃	2/年					○						○	
(3)床面清掃ワックス仕上げ	2/年					○						○	
(4)窓ガラス・サッシ清掃	1/年						○						
(5)カーペットクリーニング	1/年						○						
(6)廃棄物運搬処理業務	1/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【設備管理業務】	頻度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)消防用設備等機器点検	1/年												○
(2)消防用設備等総合点検	1/年												○
(3)防火対象物点検	1/年												○
(4)浄化槽点検201人合併	6/年		○		○		○		○		○		○
(5)浄化槽清掃	1/年					○							
(6)浄化槽11条点検	1/年					○							
(7)自家用電気工作物年次点検	1/年									○			
機械警備警備料	1/日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
機械警備機械取付工事費(26年度のみ実施)	1/5年	△											
AED一式	年間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【施設警備業務】	頻度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内野グラウンド不陸整正	1/年	▲											
内野整備	適宜実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
野球場内芝生維持管理	適宜実施	○	○	○	○	○	○	○	○				
野球場芝生スタンド芝生維持管理	適宜実施	○	○	○	○	○	○	○	○				
多目的広場芝生維持管理	適宜実施	○	○	○	○	○	○	○	○				
野球場周辺除草	適宜実施	○	○	○	○	○	○	○	○				
樹木維持管理	適宜実施	○	○	○	○	○	○	○	○				
水辺プラザ芝生維持管理	適宜実施	○	○	○	○	○	○	○	○				